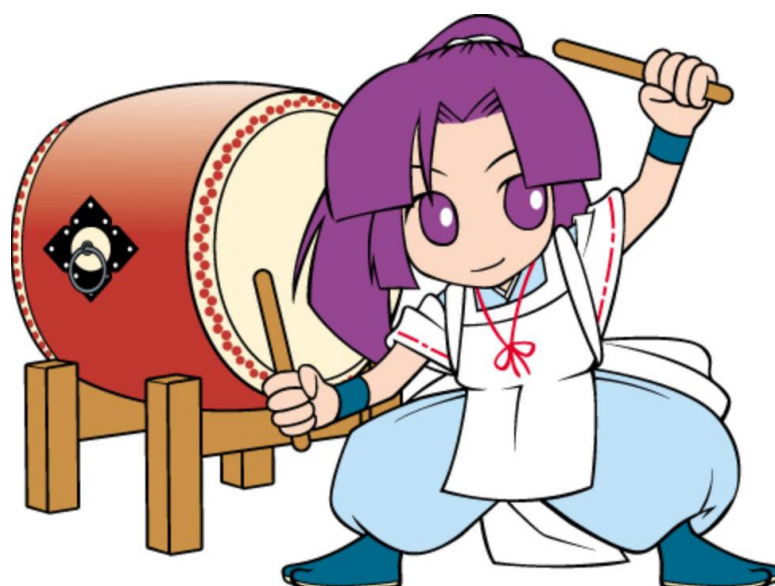


第39回京都府高等学校総合文化祭

郷土芸能部門プログラム



〈日時〉 令和4年11月6日(日) 開場:14時15分 開演:14時30分

〈会場〉 東部文化会館

京都府高等学校文化連盟郷土芸能専門部会長挨拶



新型コロナウイルスの流行が始まってから3度目の夏が終わりました。今年も例年よりも随分早い梅雨明けとうだるような猛暑の中、「第7波」の感染が急拡大しました。ただ、そのような状況の中でも、全国各地では3年ぶりに行動制限のない夏となり、様々なイベントが従来通りの方式で開催されるようになりました。そして、日増しに秋の深まる気配を感じながら今年も無事に京都府高等学校総合文化祭が開催されます。

この大会は芸術文化活動にいそむ京都府の高校生が一堂に会し、積極的な交流を通して互いの夢を語り友情を育む貴重な機会となります。そんな大会に参加するみなさんには、この大会が多くの人たちの協力の下で開催されることを理解し、感謝の気持ちを持って参加してほしいと思います。そして、この日のために厳しい練習に耐え、心をひとつにして取り組んでこられた成果がしっかりと発揮されることを期待しております。

最後に、本大会開催にあたり、温かいご支援、ご協力をいただきました関係者の皆様にお礼申し上げます。

今年も実りある大会となることを心より祈念して挨拶いたします。

京都府高等学校文化連盟郷土芸能専門部

会長 安田 文彦

(京都橘高等学校長)

プログラム

1. 京都府立南陽高等学校「マジック&ジャグリングショー」
2. 京都府立嵯峨野高等学校「舎弟」
3. 京都光華高等学校「勇華繚乱」
4. 京都府立北嵯峨高等学校「六斎踊より 四つ太鼓・越後晒し」
5. 京都橘高等学校「呼響」



各団体・演目紹介

1. 京都府立南陽高等学校「マジック&ジャグリングショー」



団体紹介

はじめまして、南陽高校マジック部です。現在、私たちは中学生4人と高校生17人で日々活動しています。大規模なイリュージョンマジックからテーブルマジック、ジャグリングまで、観客の方に幅広く楽しんでいただけるように、部員一人ひとりが日々練習と研究に励んでいます。コロナ禍で公演がなかなかできない状況ではありますが、たくさんの方々のお支えのもと、地域のイベントに呼んでいただき、マジックを披露しています。

演目紹介

今回の出演で披露させていただく内容は、マジックのネタに関わるのでくわしくはお伝えできません。しかし、実際にマジックを見たことがある人も、まだ見たことがない人もきっと不思議な体験ができると思います。ぜひ、楽しんでご覧ください。

2. 京都府立嵯峨野高等学校「舎弟」



団体紹介

嵯峨野高校は「和敬清寂」という茶道の心を建学の精神とし、学科名を「京都こすもす科」とするなど京都の伝統文化を尊重しています。2009年、大藏流狂言師茂山千五郎先生の御指導による狂言の取組が始まり、2016年には狂言部が発足しました。毎年12月に能舞台で狂言会を開催するほか全国高校生伝統文化フェスティバル等に出演してきました。現在、部員は2年生2人、1年生1人。今日は全員で狂言「舎弟」を演じます。

演目紹介

弟は、兄がいつも自分を「舎弟」と呼ぶことが不審で、物知りに尋ねに行きます。呆れた教え手は、悪戯心を起こし、舎弟とは盗人のことと教えます。憤慨した弟は、兄のところへ行き、兄こそ天目茶碗を盗んだり、近所で生まれた子牛に墨を塗って斑牛にして売り飛ばしたりしたのではないかと責め立てます。この曲の面白さは、意知を笑われていた弟と利口なはずの兄の立場が逆転して、兄が追い詰められていくところではないかと思っています。

読み仮名

和敬清寂(わけいせいじゃく)、大藏流(おおくらりゅう)、茂山千五郎(しげやませんごろう)
舎弟(しゃてい)、天目(てんもく)、斑(まだら)

3. 京都光華高等学校「勇華繚乱」



団体紹介

京都光華高等学校和太鼓部は、平成19年和太鼓同好会として発足しました。現在は関西唯一の女子校和太鼓部、中高一貫のクラブ活動として、知徳体のバランスのとれた人となるために、そして、校訓の「美しいひととなろう」をもとに美しい姿勢、演奏に力を入れて日々練習に励んでいます。主な活動としては、オープンキャンパスをはじめ、地域のお祭りや福祉施設などで聞いてくれる人に元気を与えられるような演奏を心がけています。

演目紹介

「勇華繚乱」は、三宅太鼓に代表される姿勢の低い横打ちと、組太鼓を合わせた曲になります。和太鼓演奏者である内海いっこう先生から楽曲提供を受けた「勇み」に独自のアレンジを加え、京都光華のオリジナル曲として作成しました。関西で唯一の女子校和太鼓部ならではの、勇ましくも美しい姿勢と演技、横打ちならではのリズム感、そして各自で作成した個性あふれるソロパートによる「魅せる和太鼓」を是非お楽しみください。

読み仮名 勇華繚乱：ゆうがりょうらん、内海いっこう：うつみいっこう

4. 京都府立北嵯峨高等学校「六音踊より 四つ太鼓・越後晒し」



団体紹介

開校2年目に創部された郷土研究部は、京都の伝統芸能の継承に取り組んできました。特に平成16年度からは「六音踊」を学ぶ活動を継続しています。平成18年度に全国総文への出演や中国・西安市への親善訪問を行ったほか、京都コンサートホールで開催される全国高校生伝統文化フェスティバルにも平成25年度・平成26年度・令和元年度に特別出演させていただきました。その他、高齢者施設への慰問公演なども行ってきました。

演目紹介

六音踊は、宗教的芸能である六音念仏の中に、様々な芸能が取り入れられて成立した郷土芸能です。四つ太鼓は、台上に置かれた4つの太鼓を、篠笛と鉦の伴奏に合わせて、演者が入れ替わりつつ早打ちしていく演目で、演者ごとのリズムの強弱の付け方が聴き所となります。越後晒しは、九代目杵屋六左衛門が作曲した長唄の旋律に合わせて、五太鼓の相打ちと白い晒し布を使った踊りが繰り広げられます。

読み仮名 九代目杵屋六左衛門 きゅうだいめ きねやろくごえもん

5. 京都橘高等学校 「呼響」

団体紹介



私たちの学校は、水と緑に恵まれた歴史の町、京都伏見にあります。文武両道を掲げ、学習にも部活動にも力を入れています。吹奏楽部、女子バレーボール部、男子サッカー部、陸上競技部が全国の舞台で活躍しています。太鼓部は1982年に太鼓サークルとして発足し、現在は京都橘中学校・高等学校太鼓部として活動しています。「心は一つ」を合言葉に、基礎基本を重んじ、日々活動に励んでいます。

演目紹介

本楽曲「呼響」は本校コーチ北村多喜雄先生のオリジナル曲です。モンゴルの大草原を舞台に様々な展開が繰り広げられる様子をイメージした曲となります。雄大な草原を篠笛と二胡のハーモニーで、草原を駆け抜ける馬の軽快なリズムを締太鼓で、さらに吹き荒れる自然の猛威を大太鼓と組桶で、そして最後の全員演奏では、馬に乗り大草原を颯爽と駆け抜ける様子を表現します。部員の爽やかで力強い表現、演奏に注目してお聞きください。